

アニメを利用した民俗文化継承セミナー



大和高田市の無形民俗文化財は、奈良県指定の「奥田の蓮取り行事」は有名ですが、他に天神社のお神輿については、1780年（天明二年）には現存した記述があり、御渡り行事も、市民により現在に引き継がれています。過去にあった事例として、野口の保食（うけもち）神社等に「なもて踊り絵馬」が奉納されており、無形民俗文化としての痕跡が残されています。

また、磯野は静御前の母、磯野禅師生誕地で、静御前にまつわる伝承があり、その継承として、静プロジェクトが2004年度から夢咲塾により事業化され、マップやキャラクター作成、白拍子舞（創作）等が行われています。

そして、大和高田の民俗文化を、アニメーションを利用することにより、だれにでも解りやすく学んでいただく機会を作り、継承して行きたいと考えています。

今回、橋本裕之先生を講師にお招きし、アニメーションを活用した民俗文化の継承について学びたいと思います。

日時：2023年 **2月18日**（土曜日）

受付 **13:00**～ 開始：13:40～ 終了：16:00

会場：**さざんかホール 小ホール**（大和高田市本郷町6-36）

参加：100名（当日先着順、入場無料、要マスク着用）

講師：**橋本 裕之**（はしもと ひろゆき）先生

テーマ：**静御前の描き方 -アニメを使って地域づくり！-**



講師プロフィール：昭和36年（1961年）大阪生まれ。早稲田大学第一文学部演劇専修卒業。同大学大学院文学研究科博士課程中退。博士（文学）。国立歴史民俗博物館助手、同助教授、千葉大学文学部助教授、同教授、盛岡大学文学部教授、追手門学院大学地域創造学部教授、ミシガン大学日本研究センタートヨタ客員教授、アイオワ大学人類学部客員准教授などを歴任。専攻は演劇学・民俗学。現在、坐摩神社権禰宜、大阪公立大学都市科学・防災研究センター特別研究員、美浜町伝統文化継承アドバイザー、普代村地域づくりアドバイザー。著書は『王の舞の民俗学的研究』（ひつじ書房）、『演技の精神史——中世芸能の言説と身体』（岩波書店）、『民俗芸能研究という神話』（森話社）、『震災と芸能——地域再生の原動力』（追手門学院大学出版会）、『王の舞の演劇学的研究』（臨川書店）、『儀礼と芸能の民俗誌』（岩田書院）など多数。また、『心をそだてる子ども歳時記12か月』（講談社）を監修・執筆した。平成17年（2005年）NHK大河ドラマ『義経』の芸能考証を担当、東日本大震災以降は被災した民俗芸能団体の支援に取り組み、現在も大阪と岩手を行き来している。

夢咲塾

◆お問い合わせ◆

夢咲塾 TEL 090-9114-6969（上嶋）

Mail hull@kcn.ne.jp



主催 大和高田市文化遺産活性化協議会（担当：夢咲塾）
協議会構成団体：夢咲塾、大和高田市立図書館、大和高田市文化財ボランティアガイドの会
協議会事務局：大和高田市教育委員会 生涯学習課
助成 文化庁 2022年度 文化芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業）